

別子山公民館

令和2年2月号



別子山地域の未来を考える会活動状況

平成27年度に別子山の将来をみんなで“語り”“描き”“創る”プロジェクト事業を実施し、数々の対話の場を設け平成29年度より持続可能な地域づくりを推進することを目的に「別子山の希望を描く対話プロジェクト事業」別子山地域の未来を考える会が発足。別子山地域活性化組織「別子山あけぼの隊」の設置から「別子山ファンクラブ結成」新居浜市内で、シンポジウムの開催等、これからの地域づくりに欠かせない具体的プランを計画した上実施しました。

今年度も年間計画に基づき年度当初より毎月1回の打合せ会を行い、春、夏、秋と季節毎にイベントを開催し、「別子山の自然を守る・自然を食す・自然を満喫する」のコンセプトで、別子山ファンクラブ会員に参加を募り実施いたしました。

春	<p>ドラム缶窯を使った「炭焼体験」、さらに「山菜取り」ではタラの芽やワラビ等の山菜を採取して調理し提供しました。翌日の花炭体験では、鉄の空き缶を利用し数十分焼くと出来る「飾り炭」は、松ぼっくりや木の実、果物、野菜等の材料を原型のまま炭にしました。出来た「飾り炭」を室内に置くと脱臭効果や除湿効果も期待出来る優れものです。</p> <p>このような体験活動は、自然に触れ合いながら遊ぶことがメインですので、体験者及びスタッフ含めそれぞれに新たな感動や意識の変革に繋がったものと思います。【実施日：4月20日（土）～21日（日）】</p>
夏	<p>「ジャガイモの収穫体験」や「魚つかみ大会」を開催し、魚つかみ大会では、会員の皆様にホームページやブログで呼びかけを行い、70名以上の皆さんにご参加いただきました。前週の大雨で川も増水している状況でしたが、当日までには水量も安定し実施することが出来ました。参加された皆さんは、川で泳ぐ魚のつかみ取りは初めての経験で、子供たちよりも親御さんの方が、元気に笑顔いっぱい活動されていました。</p> <p>つかみ取りの前に、飯盒炊飯の準備やかまどを作ったの火起こし等、自然を利用した体験活動に取り組んでいただき、最後は串にさして焼き上げたアメゴを食べていただき「別子山を遊ぼう」のキャッチフレーズ通り、水や自然に親しみ楽しい時間を過ごしていただく事が出来た様です。【実施日：7月28日（日）】</p>
秋	<p>“別子山的美観と味覚を体験しましょう”と呼びかけ、キノコ狩り体験やどんぐり拾い、紅葉観察等を行い、キノコ鍋の材料を調達し、さらに大野地区で育てられているウコッケイの卵を収穫し、卵は竹筒で炊いたご飯にかけて食べてもらいました。その他の食では、イノシシ肉の焼肉やキノコ鍋と別子山ならではの食ばかりを提供し、味も体験も喜んでいただきました。【実施日：11月17日（日）】</p>

このような季節毎のイベント実施以外にも、旧観光センター跡地再整備に関する要望調整作業や地域おこし協力隊の新規募集等様々な地域課題に取り組んでいます。これからも、地域の食文化（郷土料理）を調査創造する事。有機農業の講演会・講習会の開催。学びと体験の感動ツアーの実施等、外部アドバイザーの助言をいただき、地域資源の発掘とその活用策を地域住民総ぐるみで実践してまいりたいと思います。今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。



別子山地域おこし協力隊通信 “地域おこし協力隊「曾我部隊員／鴻上隊員」の活動状況を、それぞれの項目ごとにご紹介いたします。”

☆朝鮮人参

植えから3年目を迎える朝鮮人参は無事に大きなポットに植え替えが終わりました。夏はきれいな青い葉や美しい赤い実を付ける朝鮮人参ですが、冬は枝も葉も落とし姿を見せません。春にはまた新しい種を植える予定です。

☆サトウカエデ

大野山に植樹されたカエデの除草作業もあと少して完了です。急な斜面や崖のような場所もあって少し怖いのですが、将来は美味しいメープルシロップが採れる事を楽しみにしています。

☆媛っこ地鶏

大野地区で育成している愛媛のブランド地鶏である「媛っこ地鶏」も、今回で10回目の受け入れとなる新しいヒナたちがやって来ました。「別子山のオーベルジュゆらぎ」や新居浜市街の飲食店で、媛っこ地鶏をご賞味いただけますので、機会があればお店に足を運んでいただければと思います。



【入荷直後の媛っこ地鶏ひな】

- ・別子山媛っこ地鶏は個人でもご購入いただけますので、ご連絡をお願いします。地域みなさんに媛っこ地鶏を知っていただけたら幸いです。
- ・協力隊の活動等何か気になる事がございましたらお気軽にご連絡下さい。
Tel.0897-64-2212 (9:00~16:00)
- ・地域おこし協力隊通信は事ある毎に掲載いたしますので、よろしくお願いします。

第60回新居浜市公民館研究大会開催

期日：令和2年2月22日（土）午前9：30～

場所：市民文化センター 中ホール

人口減少や少子高齢化等によって地域コミュニティの弱体化が進む中、地域ネットワークの核となる公民館に求められる役割も変化している。地域課題の解決に向けて主体的に動ける人づくり、地域づくりについて学び、近年猛威を振るう自然災害においても、地域住民と連携して地域を守ることが出来る公民館活動を目指す。

大会主題：「公民館の未来」

サブテーマ：～災害時の公民館の役割・地域との連携～

○講演会 講師 文教大学人間科学部

准教授 青山 鉄兵 氏

○実践報告 助言者 青山 鉄兵 氏

報告者 神郷公民館 館長 柴田 誠 治

船木公民館 館長 篠原 元久

金栄公民館 館長 小野 英昭



春の全国火災予防運動

期間：令和2年3月1日（日）～
3月7日（土）

標語：ひとつずつ

いいね！で確認 火の用心

重点目標

- 1 住宅防火対策の推進
- 2 乾燥時及び強風時火災発生防止対策の推進
- 3 防火火災防止対策の推進
- 4 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 5 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- 6 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
- 7 林野火災予防対策の推進



移動図書館『青い鳥号』運行のお知らせ

10移動図書館「青い鳥号」が今月も、別子山地区にやってきます。

みなさん是非ご利用ください。

2月は、27日（木）に巡回します。

① 別子小中学校 13：00～13：40

② 別子山支所 13：50～14：30

※本を借りる場合は、「図書館カード」が必要です。

※1人10冊まで借りる事ができます。

その他分からないことは、図書館員におたずねください。



新居浜市立別子銅山記念図書館

0897-32-1911

市営住宅入居者募集（申込み）

市営住宅への入居者を次のとおり募集します。

■申込期間：令和2年2月3日（月）～令和2年2月15日（土）

※窓口でしか申込できません（郵送、メール不可）。

■募集団地：①南小松原、②桜木、③城下、④新田、⑤新田第二、

⑥北新町、⑦西の土居、⑧新須賀、⑨泉宮第二、⑩西原、

⑪治良丸南、⑫治良丸、⑬横山南、⑭松原

※詳細は館内掲示物、新居浜市営住宅管理グループホームページ、市政だより、新居浜市営住宅管理グループで配布している、市営住宅入居者募集要領をご確認ください。

■申込条件：市営住宅入居者募集要領にてご確認ください。

■問合せ・申込先：新居浜市営住宅管理グループ

〒792-0025 新居浜市一宮町一丁目6番37号 横山ビル1階

☎0897-47-5218

主事補のひとりごと

新しい年を迎えて皆様はいかがお過ごしでしょうか？

私は年末に風邪をひいてそのままお正月を迎える年となりました。なので心身ともにゆっくりと過ごさなさいと言われていた様な感じでしたので予定等を全てキャンセルして久々に沢山寝ました(笑)新たな年も皆様宜しくお願い致します。

話を変えてまして……。今の公民館状況をお知らせします。支所の移動を見越して館内を一掃しています。整理整頓を一月中旬から始め利用して頂く方々の気持ちになって使い勝手や配置を変えたり（少々）また伝統文化（別子山村時の貴重な物）等を大切に保管したりと館長さんや地域協力隊さんの助けを借りながら作業をさせて頂いています。利用している上で何かご意見等有りましたら遠慮なく教えて下さい。皆様が気持ち良く公民館を利用して頂ける様に・・・日々思っています。

はかよしのねごと



早くも2月を迎えましたが、皆さんお元気で過ごしてはいかがでしょうか？

年が変わってからは、本当に厳しい寒さはまだ体験していませんが、別子山の冬は程々に寒いですが。

時期も2月と言えば節分ですが2月4日が立春ですので、前日の3日が節分です。立春は寒さが一番厳しい時期で、冬が極まり春の気配が立ち始める日とされており、寒気や荒天のピークとなることが多いようです。南岸低気圧の発生も立春を境に多くなり、以前東日本で記録的な大雪になったのも立春の後だったそうです。

徐々に暖くなるのは大歓迎ですが、南岸低気圧の接近によって、突然大雪が降る恐れもありますので、気を付けたいです。

さて、今年度も様々なプロジェクト事業の展開で、皆様方にご協力をいただきましたが、3月には有機農業に関する講演会や「別子山地域の未来を考える会」が作成しました「スローヴィレッジ別子山構想」の説明会等予定しております。開催が年度末の色々とお忙しい時期ではございますが、準備が整い次第ご案内いたしますので、ご参加ご協力をお願いいたします。

寒さは今が本番、特に朝晩の冷え込みは厳しいものがございますので、皆さんも無理をせず御身体には十分注意してお過ごしください。



「地域おこし協力隊員」

地域行事等にも参加しながら皆様との交流を深め、今取り組んでいる事業も同時に行っています。これからもよろしくお願ひします。

曾我部 高詩さん



鴻上 英晴さん